

NEWS RELEASE

平成19年12月20日
国土交通省中部地方整備局

1. 件 名：平成20年度中部地方整備局の新規採択事業
(内示) について

2. 概 要：平成20年度予算財務省原案に関して、中部地方整備局関係では
「木曾川水系連絡導水路事業の建設着手」、^{きそがわすいけいれんらくどうすいろ}「清水港 新興津地区 国際海^{しんおきつ}
上コンテナターミナルの第2バース」及び「多治見税務署」^{たじみ}の3事業が新規事
業として内示を受けたのでお知らせします。

なお、中部地方整備局の全体予算ならびに各事業の事業費につしまし
ては、平成20年度政府予算成立後にお知らせします。

3. 同時配布：中部地方整備局記者クラブ
名古屋港記者クラブ

4. 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局

<総 括>企 画 課 長 谷川 知実 電話 052-953-8127

<河川関係>河川環境課長 笹森 伸博 電話 052-953-8151
※木曾川水系連絡導水路関係

<港湾関係>港湾計画課長 森橋 真 電話 052-651-6463
※清水港関係

<営繕関係>計 画 課 長 村上 幸司 電話 052-953-8185
※多治見税務署関係

新規事業箇所（直轄事業）

きそがわすいけいれんらくどうすいろ 木曽川水系連絡導水路事業（建設着手）

1. 事業箇所

【上流施設】取水口：岐阜県揖斐郡揖斐川町（木曽川水系揖斐川）

放水口：岐阜県岐阜市（木曽川水系長良川）

放水口：岐阜県加茂郡坂祝町（木曽川水系木曽川）

【下流施設】取水・放水口：岐阜県羽島市・海津市*（木曽川水系長良川・木曽川）

*：今後の詳細設計により確定

2. 事業概要

木曽川水系では渇水が頻発しており、特に平成6年の渇水では、河川流量が枯渇するとともに広範な地域で時間断水、用水不足等が発生し、この地域の社会経済活動や河川環境に深刻な影響が生じました。このようなことから徳山ダムに渇水対策容量を確保し、異常渇水時に木曽川・長良川に緊急水を導水します。併せて、徳山ダムで開発した愛知県、名古屋市の新規都市用水4m³/sを木曽川まで導水します。

①諸元：延長：約44km、トンネル径：約4m、最大導水量：20m³/s

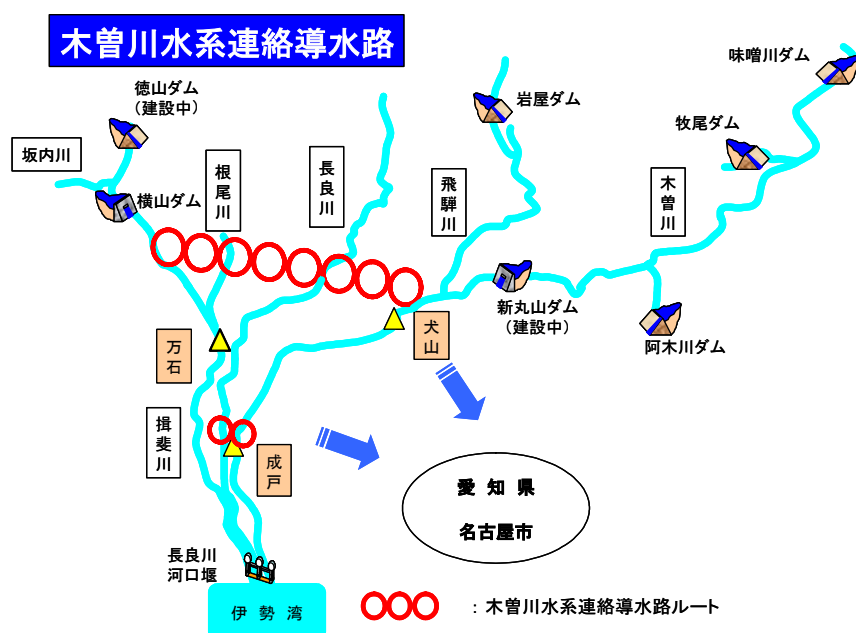
②事業期間：平成18年度～平成27年度（予定）

③全体事業費：約890億円

3. 整備効果

異常渇水時において、徳山ダムに確保された渇水対策容量の内の4,000万m³の緊急水を木曽川及び長良川に導水することにより、平成6年の渇水時には瀬切れが生じた木曽川成戸地点で約40m³/sを確保することができるようになる等、河川環境が改善されます。

また、徳山ダムで開発された愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4m³/s導水し、木曽川で取水できるようにすることにより、渇水の頻発する木曽川水系における水利用の安定性を向上させます。



国際海上コンテナターミナル整備事業（水深 15m）（耐震）第 2 バース

1. 事業箇所

清水港新興津地区（静岡県静岡市清水区）

2. 事業概要

清水港は、静岡県のモノづくり産業等を支える中核国際港湾であり、背後圏に立地する製造業等の国際物流拠点として、欧州・北米の基幹航路を始めとする週22便の国際定期航路が開設されています。

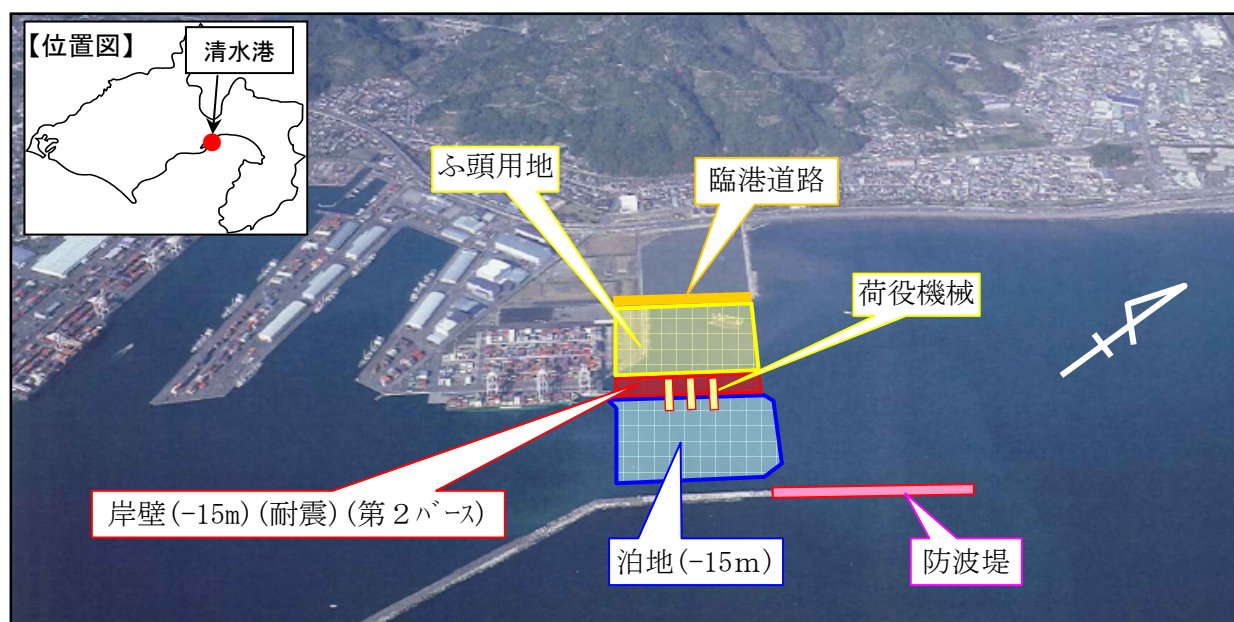
このような中、静岡県内を中心とする荷主企業の経営展開によるコンテナ貨物量の増大（平成18年実績：57.2万TEU、直近10年間で2.2倍に増加）とコンテナ船の大型化に対応するため、新たなコンテナターミナルの整備が喫緊の課題となっております。また、清水港は、切迫性の高い東海地震の想定震源域にあたるため、大規模地震発生時においてもコンテナ輸送機能が維持されるよう耐震強化岸壁の整備が強く求められております。

このため、本事業は、現在、大型コンテナ船に対応する岸壁の不足から潮待ち等の非効率な荷役・輸送を強いられている清水港において、新たに国際海上コンテナターミナルを整備するとともに、大規模地震への備えとして耐震強化を図る事業に、平成20年度より新規着手するものです。

- ① 整備内容：岸壁（水深15m）（耐震）、泊地（水深15m）、防波堤、臨港道路、荷役機械、ふ頭用地
- ② 事業期間：平成20～27年度
- ③ 全体事業費：22,100百万円（うち港湾整備事業費16,050百万円）

3. 整備効果

本事業の実施により、清水港のコンテナ取扱能力が向上することで、大型コンテナ船の潮待ち等の非効率な状況が解消し、地域産業の国際競争力の強化が図られます。また、大規模地震発生時においても国際海上コンテナ物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減します。



新規事業箇所（直轄事業）

たじみ 多治見税務署

1. 事業箇所等

岐阜県多治見市 多治見駅北土地区画整理事業 街区番号20画地番号1

2. 事業概要

基盤整備事業である「多治見駅北土地区画整理事業」と連携し、新たな地域の街づくりとの調和を図りつつ、総合的な環境負荷低減技術を活用したグリーン庁舎及びユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を行う。

- | | | | | | |
|--------|---------------|-----------|------|------|---------|
| ①敷地面積 | 2,400㎡ | | | | |
| ②構造・規模 | 庁舎 | 鉄筋コンクリート造 | 地上5階 | 延床面積 | 約2,700㎡ |
| | 車庫 | 鉄筋コンクリート造 | 地上1階 | 延床面積 | 約270㎡ |
| ③事業期間 | 平成20年度～平成21年度 | | | | |
| ④全体事業費 | 約7億円 | | | | |

3. 整備効果

土地区画整理事業の進捗に大きく寄与するとともに、建物の老朽・狭隘化が解消され、行政サービスの向上並びに土地の合理的かつ健全な高度利用が図られる。

